

令和 8 年度 第 1 回石狩市地場企業等活性化審議会議事録

日 時 令和 8 年 8 月 28 日（金） 14：30～15：30

場 所 石狩市役所 3 階 庁議室

出席者 委 員：酒井妙美副会長、田中利男委員、鈴木圭一委員、高梨朝靖委員、相田珠美委員

石狩市：市 長 加藤 龍幸

事務局 産業振興部 部長 巴 嘉之

商工労働課 課長 高井 実生子

商工労働課 主査 小林 要

商工労働課 主任 佐藤 あき

傍聴者 0 名

=====

【酒井副会長】

それでは、お時間となりましたので、ただ今より令和 8 年度第 1 回石狩市地場企業等活性化審議会を開会いたします。

議事に先立ち事務局からお願いします。

【事務局（高井課長）】

皆さんおつかれさまです。本日はお忙しい中ありがとうございます。私は、産業振興部商工労働課で課長をしております高井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本審議会の会長でありました北山雀さんが、本年 6 月 21 日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

審議会の開催に先立ちまして、田中委員の委嘱状を交付いたしますが、委嘱状につきましては誠に恐縮ではございますが、お席の方に置かせていただきましたので交付に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは加藤市長よりご挨拶を申し上げます。

【加藤市長】

皆さんこんにちは。今年度の第 1 回目となります石狩市地場企業等活性化審議会にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。

ただ今事務局からお話がありましたように、審議会に先立ちまして、本年 6 月 21 日に北山雀前会長が逝去されたこと本当に心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。北山様は 8 期 16 年と大変長きにわたり本審議会を学識経験者としての立場から支えてくださいました。また、田中委員におかれましては急なお願いにも関わらず、審議会委員を引き受けていただいたこと本当に感謝申し上げます。

さて、石狩市では地場産材の開発、普及及び市内における取引関係の強化拡大を促進することによって、地場企業などの活性化を図って、もって市内の産業の高度化また多様化並びに本市の経済の自立非

常に寄与することを目的といたしました「地場企業等活性化条例」を制定しております。

本審議会は、地場企業等の活性化を図るための様々な施策についてご審議するため、この条例に基づき設置されているものがありますので、これまで様々な観点からご議論・ご提言をいただいているところでもあります。

また、この条例に即しました施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和4年度に「第5次石狩市地場企業等活性化計画」を策定しました。これまでも石狩市ではこの計画に基づいて様々な施策を講じて参りましたが、昨今のエネルギー価格や物価の高騰、不安定な世界情勢などによりまして、市民の暮らしや企業活動に様々な影響が及んでいるところであります。今後とも社会情勢を注視しながら経済活動と地域活性化に向けた事業を展開していきたいと考えております。

なお、本計画のほか、産業振興に関連する「石狩市農業振興計画」「石狩市漁業振興計画」「石狩市観光振興計画」に関しましても同じ令和4年度に策定をしているところでございます。

これらの4つの計画は、本市の産業振興に密接に関わることから、それらの計画産業と連携を十分図りながら推進して参りますのでよろしくお願いをいたします。

本日は「第5次石狩市地場企業等活性化計画」の進捗状況をご報告させていただく内容となっております。本日はいただいた皆様方からの貴重なご意見ご提言をしっかりと受け止めて、今後の施策に反映させて参りたいと考えております。引き続き地域経済の活性化に全力で取り組んで参りますので、皆様方の力強いお力添えをお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

【事務局（高井課長）】

加藤市長ですが、この後他の用務がございまして、ここで退席させていただきます。

【加藤市長】

申し訳ございません。よろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

次に、本日初めてご出席される委員のご紹介をさせていただきます。学識経験者の田中利男様です。

【田中委員】

田中でございます。よろしくお願いいたします。

学識経験者と言われると非常に困惑しております。前任の北山さんとは、40年来、中小企業診断士としてお付き合いして、研修などの集まりで挨拶を交わしておりました。

私は、名寄で生まれ育ち大学は札幌でしたが、昭和50年に東京に出て、10年と9カ月東京で過ごしておりました。その後戻ってきて自分の税理士事務所で仕事を始めて39年になります。

石狩市に関しましても新港の方にはお客様が何件かおり、商工会議所や市役所にも数えきれないくらい顔を出しております。今後ともよろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

田中様ありがとうございました。

それでは、本日の委員の皆様の出欠につきまして、大田委員、新明委員、小山委員、岩崎委員、吉尾委員よりご欠席のご連絡をいただいておりますことをご報告いたします。

続きまして、議事に入る前に議事録の作成方法について確認をさせていただきます。議事録の作成につきましては、これまでは全文筆記といたしまして会長が代表で確認後、会長の署名により議事録を確認することとしておりましたが、今期におきましては、酒井副会長様にご確認いただく方法でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【事務局（高井課長）】

ありがとうございます。異議なしとの声がありましたので、そのように取り扱いさせていただきます。なお、議事録作成のため録音しておりますので、ご発言の際は、マイクを使用しておっしゃってください。よろしくお願いいたします。

それでは、以後の議事進行は、酒井副会長にお願いいたします。

【酒井副会長】

それでは議事に入ります。

本日の議題は、「第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況（中間評価）について」となっております。では、事務局より説明をお願いします。

【事務局（小林主査）】

商工労働課の小林でございます。

本日は、第5次石狩市地場企業等活性化計画施策方針の推進状況をご報告させていただきます。

なお、第5次計画では、数値目標を定めておりませんので、取組状況のみご説明させていただきます。

はじめに、今年から新たに加わった委員の方もいらっしゃいますことから、「石狩市地場企業等活性化計画」の概要について冒頭簡単にご説明させていただきます。

皆様のお手元でございます「参考資料1：石狩市地場企業等活性化条例」をご覧ください。本計画につきましては当条例に基づき、策定しております。

第1条に目的が明記されておりますが、本条例は、地場産財の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市経済の自立性向上に寄与することを目的に、平成10年3月に制定され、現在の第5次計画は令和4年度から推進しております。

それでは、資料1をご覧ください。

本計画は、「第5期石狩市総合計画における基本施策のうち、産業分野にかかる個別計画として位置づけられ、産業振興に関連する4つの計画との連携、整合性を図りながら推進するものであります。

1ページ目下段をご覧ください。産業振興関連計画として、本計画のほか「農業振興計画」「漁業振

興計画」「観光振興計画」の4計画があり、2ページ目中段に記載があります「持続可能な地域を目指す産業の振興」を共通テーマとしております。

続いて18ページから25ページまで、「第3章地場企業等活性化に向けての施策方針」として、4つの施策方針とそれに関連する18の施策が掲載されており、この施策に基づき取組を行っているところであります。詳細は後ほどご覧願います。

ここからは資料2に基づき、令和7年度の実証運行状況をご説明させていただきます。

その前に資料の訂正がございます。

2ページのオンデマンド交通実証運行について、令和5年9月1日から本格運行をしておりますことから、令和6年度及び令和7年度の「実証運行」の文言を削除願います。

それでは1ページ、施策方針の1つ目、「石狩湾新港地域の活性化」として、「(1) 企業誘致の推進」は首都圏を中心とした企業訪問や企業誘致フェアへの出展などを実施し、令和7年度末の新港地域の立地企業数は773社、操業企業数は719社となっております。近年では、スーパーホテルやコストコホールセール、イオンやニトリの物流センターの進出、新たなデータセンターの建設などに加え、港湾区域において大規模洋上風力発電所の営業運転の開始もあり、更なる発展が期待されることから、再エネ分野やデータセンター集積の加速等、今後も継続して、これらの取組を実施していく予定でございます。

次に「(2) 事業拡大や継続の促進」については、石狩市地域未来投資促進条例や、先端設備等導入計画の認定等による「設備の新設又は増設に対する」固定資産税の免除等を行うことにより事業拡大の促進を行ってきたほか、石狩湾新港地域への通勤オンデマンド交通の実証運行や軌道系交通システムの導入に関する調査を行い、交通課題への取組などを行って参りました。今後も課題の整理や情報収集に努めたいと考えております。

次に3ページ、施策方針の2つ目「地場企業等の経営基盤強化」として、「(1) 情報の提供及び組織等の強化」①「情報の提供」につきましては、各種支援制度の情報提供を市ホームページ・広報などで実施しており、情報を必要とする企業等への有効な配信方法を検討しつつ今後も継続していく予定です。②「地域経済活性化に向けた支援」につきましては、石狩商工会議所や石狩北商工会が取り組んだ商工業者への経営改善等の指導などに対する支援を行っており、今後も実務担当者との意見交換による情報の共有と連携を引き続き行って参ります。

次に「(2) 中小企業・小規模企業者への支援」①「商工会議所及び商工会と連携した支援」につきましては、商工会議所や商工会が行う、経営指導や融資のあっせん等に対し支援を行って参りました。引き続き連携し新たな取組を検討して参ります。②「公共工事等の受注機会の確保」につきましては、契約課で行っている、小規模修繕契約希望者登録制度があり、50万円以下の小規模修繕費について、一般の指名業者登録とは別の制度として、建設業の小規模事業者を受注機会を確保する制度があり、今後においても継続していく予定です。③「競争力強化に向けた支援」につきましては再掲となっております。

次に5ページ、「(3) 金融支援等の強化」につきましては、市の中小企業等特別融資制度の運用、各種融資制度などに係る情報提供を行っており、今後も継続して実施していく予定ですが、実際に融資を受けようとする事業者のニーズ把握が課題として挙げられていることから、金融機関との意見交換などを行いながら支援策の検討を行って参ります。

次に、「(4) 人材の育成支援」①「人材の育成支援」につきましては、高校生の就職率の向上や若手社員の早期離職率の低下を目指すことを目的に、高校生就職支援セミナーや若手スキルアップセミナー、管理職向けの研修を実施しており、一定の需要と効果が見込まれることから、内容を精査したうえで継続の検討を行って参ります。

6 ページ目②「石狩市季節労働者通年雇用促進協議会との連携」につきましては、商工労働課内に石狩市季節労働者通年雇用促進協議会を設けており、通年雇用に向けての技能習得の支援や通年雇用促進セミナー、合同企業就職説明会などを実施しており、今後も継続して実施予定ですが、季節労働者の減少などもあり、今後の事業内容の見直しも検討して参ります。

次に、7 ページ「(5) 労働力確保への支援」

①「労働力確保対策」につきましては、ハローワーク札幌北と連携して市役所2階にジョブガイドいしかりを開設しているほか、シルバー人材センターへの支援などを行って参りました。また、石狩商工会議所では、大学と連携し新港企業の見学会などを開催しております。その他には、人手不足の解消と地域の活性化を目的に設立された「浜益特定地域づくり事業協同組合」への支援などを行っており、引き続き継続して参ります。

9 ページ②「通勤に伴う交通アクセスの利便性向上の検討」につきましては、再掲となっております。

③「外国人労働力受入環境整備の検討」につきましては、外国人採用に係るセミナーや相談会を開催したほか、日本語サロンを開催いたしました。今後におきましては、技能実習制度に代わる育成就労制度などの動向を注視するとともに、企業等のニーズをとらえながら、必要な支援を検討して参りたいと考えております。

次に、10 ページ「(6) 事業継続への支援」につきましては、事業承継では、親族間での引継ぎのほか、後継者不在による相談等を随時行って参りましたが、今後も第三者への承継も含め、一定の支援需要が見込まれることから、経営者の意向やニーズを把握しながら、「北海道中小企業総合支援センター」や「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し支援を行って参ります。

また、今後においては、商工会議所で実施しております高校生・大学生を対象とした産学連携事業への継続支援や、国や道と連携した移住支援金事業の継続などを行って参りたいと考えております。

次に、「(7) 創業・起業等への支援」ですが、本市において創業支援等事業計画を策定しており、ワンストップ窓口を開設し相談者の支援を行っておりますが、近年は相談件数も増加傾向にあります。また、石狩商工会議所が実施している「いしかり創業促進助成金事業」への支援を行うなど、引き続き商工会議所及び商工会と連携し、継続実施したいと考えております。

次に11 ページ施策方針の3つ目「石狩のブランド力向上」として、「(1) 地産地消の推進」ですが、いしかり地産地消の店認証事業による地産地消の取組や、石狩三大秋祭りなど各種イベントを開催しております。今後においては、市内のみならず、道央圏における地域内流通を促進するため、「道の駅」や「とれのさと」を核とした地場産品販売の取組を行っていく必要があると考えております。

次に、「(2) 地場産財の知名度向上」①「地場産財の知名度向上」につきましては、地場産財の知名度向上に向け各種イベントへの出展をはじめ、道の駅を核としたPR活動の実施、ふるさと納税制度を活用した地場産品のPRを実施しております。現在、民間主導の新商品開発は活発に行われていることから、知名度向上やブランド力向上に向けた支援や北海道で行っている「北のハイグレード商品」等の

認証制度を活用した知名度向上につなげて参りたいと考えております。

②「輸出に向けた取組検討」につきまして、本市単独での実施ではなく、北海道国際流通機構やさっぽろ連携中枢都市圏の枠組みなどを活用した取組を引き続き実施して参りたいと考えております。

次に、12ページ「(3) 販路拡大への支援」ですが、近鉄百貨店あべのハルカス本店やコーチャンフォー若葉台店などと連携した地場産材のPR販売を実施したほか、北海道貿易物産振興会が主催する商談会へのサポート、地場産品のブランド力と知名度の向上を目的としたセミナーを開催いたしました。「今後も新たな販路開拓や継続的な出展機会の確保、バイヤー等との関係を構築するため、観光協会や、農協、漁協との連携を図り取り組んでいく必要があると考えております。

次に、「(4) 商品開発への支援」につきましては再掲となっております。

次に、13ページ「(5) ふるさと納税の推進」ですが、年々件数及び金額が増加傾向にあり、それに伴い返礼品として地場産品を提供することにより、PRにもつながっているものと考えております。今後は、「新たな地場産財」の掘り起こしを行うことが必要であると考えております。

次に、14ページ施策方針の4つ目「地域コミュニティの活性化」として、「(1) 地域商店街の活性化」ですが、商店街の魅力アップのため、「石狩まちゼミ」を毎年開催しております。「まちゼミ」は、お店の方が講師になってプロならではの専門的な知識や情報、コツなどを受講者に教える講座であり、店舗にとっては新しいお客様との出会いや同業者同士のつながりが生まれ、結果的に商店街活性化のための効果が期待されているところであり、今後も定着に向けた支援が必要と考えております。また、商店街への新たな購買層として、若年層や新港地域の就業者向けの情報発信及びPR方法の検討が必要であると考えております。

次に、「(2) 異業者等の連携」ですが、石狩イコロの会という団体が定期的に異業種交流会を開催しているほか、石狩商工会議所が新港地域の立地企業との交流会などを開催しており、今後もこのような活動への支援が必要であると考えております。

次に「(3) コミュニティビジネスの推進」については、助成金などの活動資金に関わる情報提供や、市民活動情報センター事業として、市民を対象としたまちづくり講演会を実施しており、これらを継続して実施していく予定でございます。

15ページ「(4) 地域の買物環境の整備」ですが、現状民間の移動販売や配送サービスが行われており、引き続き地域のニーズの把握に努めて参りたいと考えております。

最後になりますが、今年度は中間評価の年度となっております。各施策の取組状況から、一部内容の精査が必要とされるものの、計画の変更を必要とするものはないと認識しており、本計画の見直しはせず、引き続き各施策に取り組んでいきたいと考えております。

長くなりましたが、第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況及び中間評価についての説明は以上となります。

私からは以上です。

【酒井副会長】

ただいま、事務局より第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況（中間評価）について説明がありました。ご意見やご質問がありましたらお願いします。

【鈴木委員】

まず、3ページの②地域経済活性化に向けた支援「石狩産業活性化連携会議の開催」、これが一度も開かれていません。資料は全部一通り読んで評価をずっと見てきて、大体が継続する必要があるというような評価が多く、私もこれは必要な物だと思いますが、4年間開催していない会議を、来年開催できるのか、もしくは、開催する方法を何か検討されているのでしょうか。

それに付随して、5ページの②も同じように、金融機関との意見交換会も令和4年に1回開催されて、それ以降は、実質開催がされていないということなので、違う形で意見交換していると思いますが、ここが必要なのかどうか。また、来年開催しないで0回0回と続くのであれば、この交換会自体の形を変えた方がいいのではないかと思います。

次に労働力確保の支援で、7ページの中のリフォームと融雪槽、これは、労働力確保の分野に掲載された経緯を教えてください。また、リフォーム補助金は、年度初めに募集開始となり、決定されてからになるので、工事の依頼が集中し、業者がすべての依頼を受注できていない。これは、市民の方にもいい補助金ですし、業者にとってもいいのですが、このやり方をもう少し変えられたら、もっと分散して仕事ができるようになり、市民の方もその期間でなければならないということはないと思います。そこをお伺いできればと思います。

それと「まちゼミ」14ページ、商店街の魅力化ということで、私はまだ参加できていませんが、いろいろ話を聞くと、講座はいいが周知がなかなかされてないことと、「まちゼミ」に参加してくれる商店街の人への周知がなかなか進んでないというところがあります。この商店街の魅力化の部分で、「まちゼミ」の開催に向けた勉強会の実施について、予算的な支援だけなのか、どういう支援をしているのか、勉強会を2回から1回に減らしたので、今後どのような形になっていって、この「まちゼミ」自体を市はどのような風にもっていきたいのか、考えを聞けたら嬉しいです。以上です。

【事務局（高井課長）】

ありがとうございます。

まず3ページ目の地域経済活性化に向けた支援について、石狩産業活性化連携会議の開催がずっと0回であることにつきましては、基本、必要に応じて開催ということで今まで必要がなかったと捉えており、5ページ目の金融機関との意見交換会についても同様に、必要に応じて開催ということで、おっしゃっていたとおり会という形では実施してないものの、実際必要に応じてそれぞれの方々と相談をさせていただき、情報交換をさせていただいております。この記載の方法について、こちらに載せるべきかどうかという部分も次年度以降検討させていただければと思います。ご指摘ありがとうございます。

続いて7ページ目の住まいの応援事業につきまして、こちらも労働力確保対策への取組なのか、ここに掲載された経緯を確認いたしますが、こちらも次年度以降どのように掲載すべきなのかという部分も含めて、検討させていただきます。そして、この募集が集中して工事を実施する時にやり方を変更できないのかということでしたが、こちらも原課に確認いたしまして、スムーズに実施できるように、ご意見をいただいたということを伝えたいと思います。ありがとうございます。

最後に「まちゼミ」につきましては、主催の商店会連合会からも実にご相談いただいております、現在は、講師にかかる補助金での支援をさせていただいているところですが、委員がおっしゃったように、参加される方の周知が、企画する方の周知もですが新しい方がいないということで、市の方にもご

相談いただいております。今後こういった方向で進めていくのかという部分を市としても一緒に考えていきたいと思っているところでした。以上になります。ありがとうございます。

【酒井副会長】

ありがとうございました。本日予定しておりました議事は以上ですが、全体を通して何かご発言がありましたらお願いいたします。

特になければ皆様の所属されている組織や団体の現状に新たな取組などございましたら、簡単にご報告いただきたいと思うのですが、相田委員からお願いします。

【相田委員】

久しぶりに参加させていただきました。それなりに皆さんしっかりと取り組んでいらっしゃる、私も市民としては、書いてある情報はある程度やったださっていることもわかっていますので、もっともっと市民の皆さんに周知していければいいのではないかなと本当によく思います。私たちのように仕事などで外に出ている方たちは、やっていることもすべて把握されているとは思いますが、なかなか広い範囲で市民の方には浸透されていないので、私からも発信して教えていますが、その浸透する方法を考えていくのも必要なのかなと思います。以上です。

【酒井副会長】

ありがとうございます。

では、鈴木委員お願いします。

【鈴木委員】

私も石狩市で経済活動している人間ですから、いろいろな先輩方と意見交換しながら活動させていただいているのですが、新港の方はある程度企業誘致が進んできて盛り上がっているという流れはありますが、近くの花川や厚田と浜益といった住宅地のほうは実感が湧かない。皆さん盛り上がっているというイメージは持っていない。結果、税収などで、市がいろいろなことをできているというのは、理解しているのですけれども、もう少し飲食店も含め、地域活性化させるための方法、巻き込み方が必要かと思います。飲食店に頑張るというのも一つですが、例えば市制 30 周年なので、市内全部の道路に市制 30 周年ののぼりをたてて電飾をつけるなど、そのようなイベント的なことをやると少し街も盛り上がっていくのではないかなと感じております。以上です。

【酒井副会長】

ありがとうございます。次に田中委員お願いします。

【田中委員】

資料ありがとうございます。すべて目を通しましたが、この資料と関係なしに私が思っていることは、特に新港の方で撤退する企業があったり、入れ替わったりしているので、協力できればいいなと思います。花川の商店街は、個人的に企業支援の形で企業を回ることがあります。

【酒井副会長】

ありがとうございます。高梨委員お願いします。

【高梨委員】

近況といえば、私どもは海水浴場が先週終わりました、近年ずっと今年もそうだったのですが、過去最低をずっと更新しており、今年に関しては、7月は天気が悪かったですが8月は天気がよくて、恵まれたのか遊泳禁止も3回しかなかったです。そういった中でもこんなに暑くても天気がよくても海水浴離れが出たかなというような状況でした。前年より1割減ぐらいの感じで3年間ずっと過去最低を更新しているような状態です。寂しい話ですが、以前であれば天気がよければ人が来るというような感じだったのが、最近はそのような状況ではなくなっています。来るお客さんに合わせたニーズにできるだけお金をかけずに答えられるような海水浴場づくりが必要なのではないかなと思いつつ、来年に向けて取り組んでいければなと思っていますところ。

商談会などの方としては、今年は久々に仙台の藤崎百貨店の方から石狩鍋の提供をお願いしたいとのことで、10月に行って参ります。首都圏の方としては、新宿の北電の方で北電物産展として道の駅石狩「あいろーど厚田」と連携しながら久々に行って、石狩市をPRしてこようと思っています。

次は「さけまつり」の開催になりますが、報道でもあるように今年は鮭が今年の4割程度ということで漁協の方ともどうしたらいいだろうかというような話も最近しており、「鮭のつかみ取り」もあります。できるだけ捕ってためてくれるということですが、今年はすごく値段が高いです。厚田でも少し捕れているという話も聞きます。最近結構ワタリガニが豊漁で、漁協の方でも水産加工会社の方と連携してワタリガニの新しい商品が、鮭とばに代わって9月中旬から販売されます。ワタリガニのブイヤベースとスープカレーとパエリアの3種類が発売されますのでそちらの方もぜひよろしくお願いします。

近況としましては以上です。

【酒井副会長】

ありがとうございました。

では本日の議事を終了し、この後の進行を事務局に渡したいと思います。円滑な議事進行にご協力を頂きまして、ありがとうございました。

【事務局（高井課長）】

委員の皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

最後にその他といたしまして事務局より2点ご連絡がございます。

1点目ですが本日の会議出席にかかる報酬および交通費の支給の関係ですが、ご辞退いただいている方以外には後日、所定の金額をご指定の口座にお振込みをさせていただきます。個人番号マイナンバーか報酬振込み先口座の確認が必要な方につきましては、終了後、担当よりご説明させていただきます。

2点目ですが、当審議会の次回のスケジュールについて、現時点では予定している案件はございません。今後、案件がありましたら、随時ご案内させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上となります。

【酒井副会長】

それでは以上をもちまして令和８年度第１回石狩市地場企業と活性化審議会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

=====

令和 ８ 年 ９ 月 １ ７ 日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化審議会

副会長 酒井 妙美